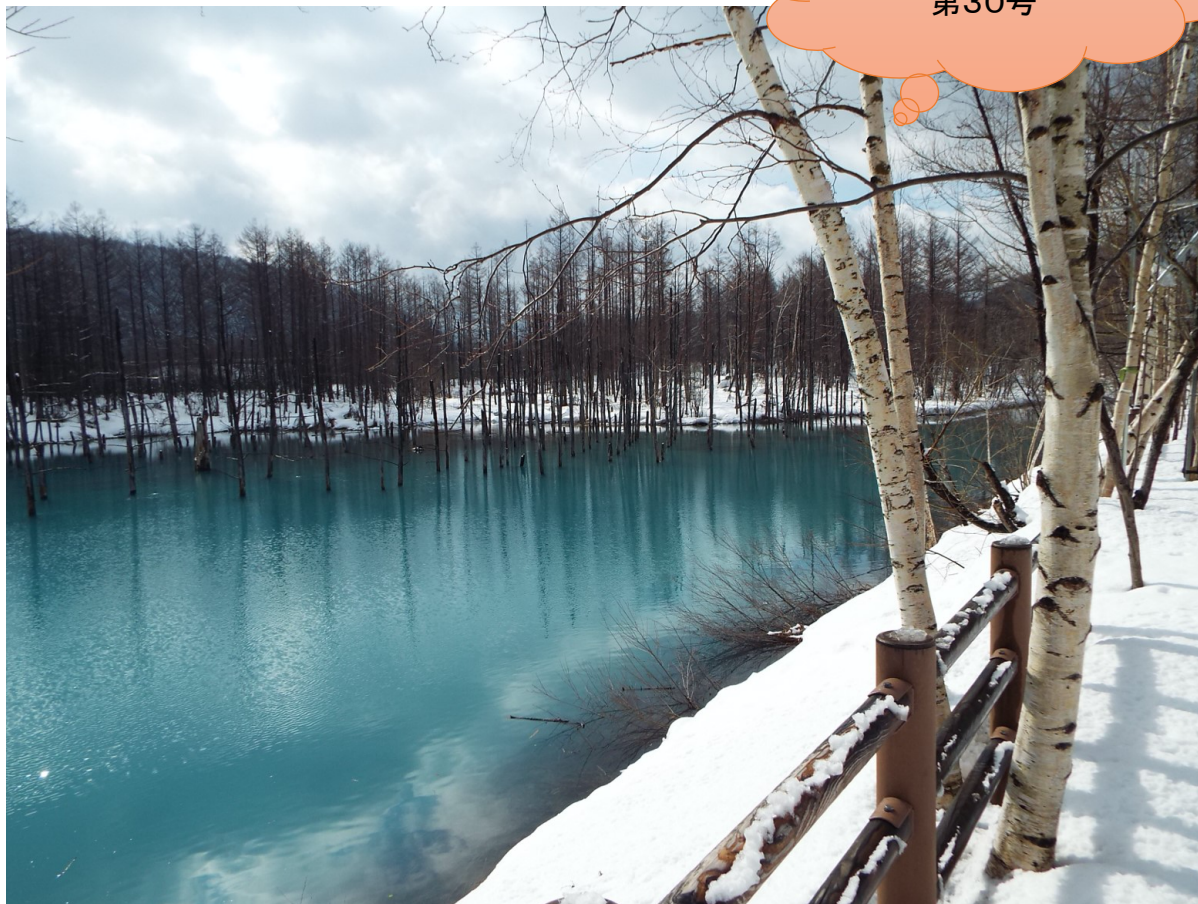


中部環境計量士会だより

2022 年 12 月 25 日発行

第30号



【写真】 北海道川上郡美瑛町 「白金青い池」 (新谷会員撮影)

目 次

- 1 今後の行事予定 2
- 2 最近の環境関係法令等の動き 2
- 3 話題提供
 - 「何とか登った日本百名山 10」 3
- 4 会員だより
 - 「近況報告 『刈谷ふるさとガイドボランティアの会』に入会して」 5
 - 「40年分の反省ー浴室のカビ対策ー」 6

「白金青い池」の成り立ちは美瑛町役場のホームページをご覧ください
(<https://www.biei-hokkaido.jp/ja/sightseeing/shirogane-blue-pond/>)

1 今後の行事予定

【勉強会】

日 時：2023 年 1 月 21 日（土） 勉強会：13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：大同特殊鋼(株)健保会館 名古屋市熱田区神宮 2-3-30

TEL 052-671-1186 https://www.daidokenpo.jp/health_index/resort#cnt01

アクセス：名鉄名古屋本線「神宮前駅」下車、熱田神宮東門から南西へ徒歩 7 分又は地下鉄名城線「伝馬町駅」1 番出口から北西へ徒歩 3 分

内 容：作業環境測定法の改正の影響（新谷会員解説）

＊勉強会の後、中部環境計量士会のホームページリニューアルの検討会を開催します。

2 最近の環境関係法令等の動き

（2022 年 12 月 15 日現在の情報です。最新情報は省庁のホームページでご確認ください）

- 「指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供の方法等を定める省令の一部を改正する省令」（S D S 省令）令和 4 年 3 月 31 日 経済産業省令第 35 号

出典：経済産業省ホームページ「政策について」「化学物質排出把握管理促進法」「化管法」「SDS 制度」「政省令等」「省令改正」

（URL：https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/msds/5_2.html）

令和 3 年 10 月に、「化学物質排出把握管理促進法が改正されたことから、化学物質を取扱う事業者の情報提供方法が柔軟化されました。

情報の提供の方法として、相手方の承諾を要件とせず、電子メール送信やインターネットを利用した情報の提供で、相手方が容易に閲覧できる方法が追加されました。

- 「指定化学物質等取扱事業者が講ずべき第 1 種指定化学物質等及び第 2 種指定化学物質等の管理に係る措置に関する指針（平成 12 年 3 月環境庁・通商産業省告示第 1 号）の一部を改正する告示」令和 4 年 11 月 4 日 経済産業省・環境省告示第 10 号

出典：経済産業省ホームページ「政策について」「化学物質排出把握管理促進法」「PRTR 制度」「政省令等」「告示改正」

（URL：https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/pdf/20221104shishin_shinkyu.pdf）

- ・指定化学物質等取扱事業者は管理の状況について地方公共団体に適正な情報を提供するように努める

- ・指定化学物質等取扱事業者は平時において、災害発生時の化学物質の漏洩を未然に防止するための方策を検討し、必要な措置を講ずる

- 「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令」令和 4 年 5 月 31 日 厚生労働省令第 91 号

出典：厚生労働省ホームページ「政策について」「労働基準」「トピックス 報道発表資料 労働基準局」「化学物質による労働災害防止のための新たな規制について」

（URL：https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25984.html）

報道発表の説明では、「化学物質による休業 4 日以上労働災害（がん等の遅発性疾病を除く。）

の原因となった化学物質の多くは、化学物質関係の特別規則※の規制の対象外となっています。本改正は、これら規制の対象外であった有害な化学物質を主な対象として、国によるばく露の上限となる基準の策定、危険性・有害性情報の伝達の整備拡充等を前提として、事業者が、リスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のための措置を適切に実施する制度を導入するものです。」とあります。(※ 特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則)

この改正で、これまで「調査対象物の危険性・有害性の調査」と記載されていた単語は「リスクアセスメント」に変わりました。

リスクアセスメント対象物の製造、取扱いまたは譲渡提供を行う事業場について多くの規制が新設、改正されました。

- ・SDS等による取扱作業や譲渡先等への情報伝達の強化
- ・取扱事業者による管理体制の整備
- ・化学物質管理責任者、保護具着用管理責任者の選任
- ・特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則の改正 など

この法令施行日は、令和4年5月31日以外に、一部の規則は令和5年4月1日あるいは令和6年4月1日からです。

○「水質汚濁防止法のあらまし」令和4年11月改正

出典：愛知県ホームページ「あいちの環境 水・大気環境情報」

(URL:<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/Download/FileInfo.aspx?ID=140>)

水質汚濁防止法に基づく基準など、規制の概要をとりまとめたものです。(愛知県内の事業場向け)

3 話題提供

「何とか登った日本百名山 10」

—吾妻山、安達太良山、磐梯山—

田中義身

引き続き東北の百名山、20 吾妻山、21 安達太良山と 22 磐梯山の記録を紹介します。

吾妻山最高峰の西吾妻山と安達太良山はかなり上までロープウェイやリフトが通じています。頂上に行くだけなら比較的楽な山々です。三山とも活火山で、温泉も多く有ります。安達太良山と吾妻山は2山を二泊三日で登りました。最短と思われるルートに登ったので、もう一度別ルートで登ってみたいと思っています。磐梯山は登った山のうちで五本の指に入る素晴らしい晴天で、今も印象が強く残っています。

2.1 安達太良山(1700m) 2012年6月23日(土) 単独登山

かけ流し温泉で有名な「くろがね小屋」に泊まるルートにも惹かれたのですが、結局最短と思われるルートで登りました。

残念ながら頂上に着いた頃に雲が懸ってしまい、火口などはよく見えませんでした。智恵子抄で知られた安達太良山の別名はおっぱい山です。丸い山の上に写真のような山頂部分がぽつんと付いています。

[行程]

第1日：名古屋駅→二本松駅→バスで岳温泉→タクシーで奥岳登山口→

あだたらやまロープウェイ山麓駅→山頂駅 12:30→13:20 安達太良山頂上→14:30 山頂駅→

往路と同じ道順で二本松駅→福島駅→米沢駅 ビジネスホテル泊

第2日：吾妻山登山



安達太良山山頂部



安達太良山頂上

20 吾妻山 西吾妻山 (2035m) 2012年6月24日(日) 単独登山

吾妻山も最短と思われる楽なルートで登りました。ロープウェイとリフトが1820mの北望台まで運んでくれます。残雪はあったものの、そこから頂上までは急な登りは殆どなかったように記憶しています。頂上もなだらかです。

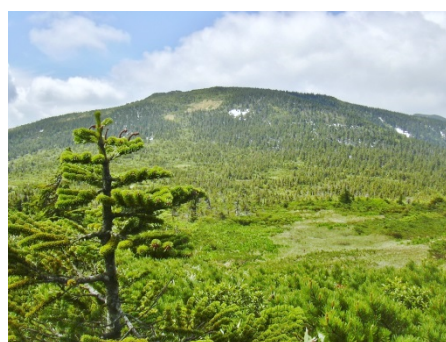
一切経山や吾妻小富士のある東吾妻山の方にも行ってみたいのですが。

[行程]

米沢駅前からバスで白布温泉・天元台ロープウェイ湯元駅→ロープウェイで天元台へ→リフトを3回乗り継いで登山口の北望台へ9:50→11:20 西吾妻山頂上→往路下山→米沢駅から新幹線乗り継ぎで三河安城駅



北望台へのロープウェイ



西吾妻山

2 2 磐梯山 (1819m) 1994 年 5 月 27 日 (金) 単独登山

明治時代に起きた水蒸気爆発による山体崩壊で多くの湖沼ができた裏磐梯から登りました。素晴らしい天気でした。特に頂上から眺めた猪苗代湖がまだ目に焼き付いています。宿の夕食に出たごみが美味でした。

[行程]

第 1 日：盛岡駅→郡山駅→猪苗代駅→バスで裏磐梯へ、共済組合関連宿舎泊

第 2 日：宿からバスで裏磐梯高原駅→スキー場、銅沼、弘法清水を経て磐梯山頂上→弘法清水→天狗岩、噴気孔分岐を経て川上登山口→バスで猪苗代駅→三河安城



銅沼 (火口湖)



頂上から猪苗代湖



頂上から吾妻連峰



天狗岩



猪苗代駅から

4 会員だより

「近況報告 『刈谷ふるさとガイドボランティアの会』に入会して」

鈴木義彦

環境関係ではありませんが、今年から史跡案内の観光ボランティアを始めました。始めたといっても、まだまだ初心者で昨年の秋にガイドボランティア準備講座の募集があり、講座修了後にそのまま入会したものです。ボランティアとはいうものの、本会と同じく年会費 4,000 円が必要で、その価値は本人次第というところでしょうか。2003 年に設立され会員は 34 名を数え、私同様に住んでいる処のことを知

らないので入ってみた、という人もいれば、研究成果を出版するほどの方もみえます。

刈谷市では市民にもっと郷土について知ってもらえるようにと、市内の史跡をエリア毎に紹介するパンフレット「歴史の小径」9コースを作りました。そこを「史跡めぐり」と銘打ち各コースに準じて4kmを3時間ほどかけて、市から委託された形でガイドします。これが実際にやってみると1万歩くらい歩く体力が必要なので、退職後に始めた日頃の散歩が思いがけず役立ちました。

年3回の市民向けの他にも、色々な団体やグループからの依頼にも応じていますが、ガイド歴10年以上の先輩方と違い、私の場合は自分に割り当てられた役割だけで今のところは精一杯の状態です。ガイド本番の前に、現地下見あり、ガイドの練習を含めた全体リハーサルや班別リハーサルもあります。この時に経験者から貴重な体験談を聞くことが出来ます。また、参加者に説明するためには、まず自分が理解しないといけないので、図書館や歴史博物館で文献を調べたり、一人で市内の史跡を訪ねることもします。

そんな勉強をしていて知ったのですが、刈谷市にも多くの縄文時代の貝塚や遺跡が発見されていました。

私の好きな縄文時代のうち7,000～4,000年前は、今より1～3℃暖かく、海面も今より3～5m高く、川に沿って入江は内陸まで入っていたと考えられています。当会の皆さんはご存知と思いますが、「縄文海進」と呼ばれているものです。地元刈谷市もあらためて資料を調べてみると当時の入江の周辺に縄文時代の遺跡が多く集まっていることが確認できます(右図)。

地球温暖化により気候変動や海面上昇が危惧されていますが、昔の気候変動と歴史について考えてみるのも興味深いものです。こんな再発見も時に楽しみながら、ガイドボランティアとして活動しています。

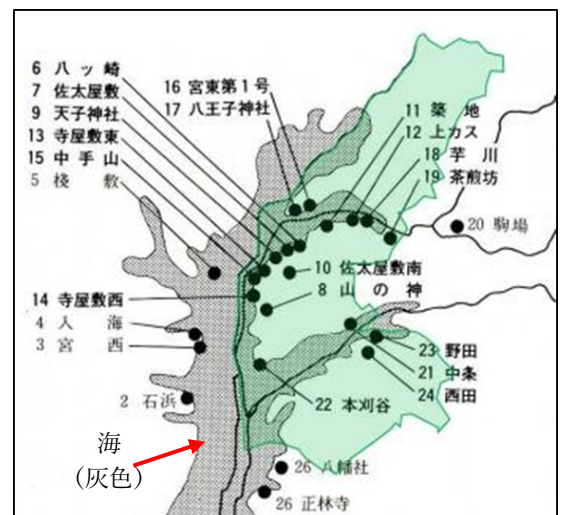


図 衣ヶ浦の海と縄文時代の遺跡
(緑色の部分が現在の刈谷市域)
刈谷市ホームページより作成

※刈谷市ホームページの「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」

<https://www.city.kariya.lg.jp/kankobunka/rekishibunka/katsudodantai/1006429.html>

4 会員だより

「40年分の反省 ―浴室のカビ対策―」

杉浦世紀子

私は約40年間環境分析に携わってきました。主に環境水の検査を担当し、検査方法の原理も多少は知っているつもりでした。細菌検査の経験もあります。しかし、最近、その知識を日常生活に全く使ってこなかったことに気づきました。

些細な事です、湿気のこもった浴室を乾燥させるために皆さんはどうされていますか？

洗剤メーカーも住宅メーカーも窓を開けることを推奨していますね。でも、これがかえって黒カビを繁殖させることになるのだと気づきました。気づいたのは、つい3年ほど前です。細菌検査の知識がありながら、こんな単純なことに長年気付かなかったことがちょっとショックでした。

浴室にカビや孢子が付着する原因としては、埃だらけの身体に付いた埃やその埃を洗った石鹼液がシャワーなどで壁や天井に付着する事はあるでしょう。しかし、1番の発生源は、窓から吹き込む風によって運ばれてきたカビや孢子だと思います。

ご存知の通り、カビ類は水蒸気よりも重く、臭気物質のように簡単には浮遊しません。細菌検査等で試験管内の試料を均一にするために、スターラーなどの強い力で攪拌するのはこのためです。湿気の多い浴室内でカビや孢子が室内の水蒸気と一緒にふわふわと浮遊するとは考え難いのではないのでしょうか。

浴室内でのカビの繁殖を抑えるには、風呂垢や石鹼液を洗い流したら、窓を開けず、浴室の換気扇を数時間作動させ、浴室内を乾燥させるのが良い方法ではないのでしょうか。

この基本的なことに気づかなかった私は、毎年、夏になると防カビ剤や漂白剤を使って天井や壁の黒カビ取りを行っていました。徒労でした。（以来、大掃除以外は浴室の窓は開けていませんが、黒カビの発生はなくなりました。）

それにしても、40年間、こんな基本的なことに気づかなかったことが、本当に恥ずかしいといいますが悔しいといえますか、反省しています。